



MJかけはし

働きながら資格取得が目指せる 准看護学院の魅力

幅広い世代の人と共に学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍



平成30年度志願者概況

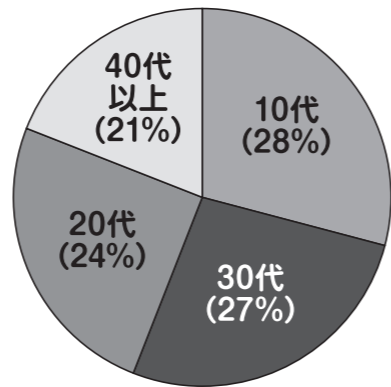
真壁医師会准看護学院は、平成27年5月に創立60周年を迎えました。この半世紀を超える歴史の中で、既に2193名の卒業生を送り出し多くの卒業生が地域医療の担い手として活躍しています。

当学院志願者を地域別にみると、当医師会管内である筑西市・下妻市・八千代町・桜川市出身者が多く、次いで隣接する結城市・古河市・常総市などの県西地域全般に及んでおり、つくば市・笠間市・水戸市等、県南・県央地域からも少数ながらも毎年志願者がいます。更には県境に近い栃木県小山市、真岡市など、通学1時間圏内でアクセス可能な各地域に広がっています。

社会人経験者のキャリア

- ・医療関連施設でヘルパーとして従事していた人
 - ・介護・福祉系資格者が更にプラスワンの資格を求めて看護職資格を目指す人
 - ・保育園・幼稚園教諭等の異業種から資格取得を目指す人など
- 新たに資格者として医療分野での活躍を目指す、明確なモチベーションと旺盛なチャレンジ精神をもった方々が多く見受けられます。

平成30年度志願者の年代別占有率



少子化や不透明な経済状況の影響など、近年の社会の構造的要因も相俟って、20代・30代・40代の幅広い層の社会人経験者の増加傾向が顕著で、その占有率は約70%と高くなっています。

医療機関に所属して学ぶ

入学者の多くは、当医師会管内の医療機関を始めとして、通学可能な範囲の病院等に所属し、給与収入の他、奨学金等の支援を得ながら、学んでいる生徒が多数を占めます。実際に、医療機関で働きながら学ぶ事ができる准看護学院のメリットを、多くの生徒が享受しているのが現状です。

更に、県や市町村等の各行政の定める各種修学資金(茨城県看護師等修学資金、栃木県看護職員修学資金、ひとり親家庭高等職業訓練給付金、高等学校等就学支援金)等があり、条件が合えば在学時の経済的負担を軽減策の一つとして、これらの制度を活用する事も可能です。

卒業後の進路は、所属する病・医院等へ就職する生徒が約90%、正看等の看護学校への進学者が約10%となっており、自分自身の将来像を見据えたそれぞれの進路選択をしています。

高齢化社会の進展する今、看護の道を選ぶこと

人間は加齢するにあたって様々なリスクが高まり、病气や怪我をしてしまった際には、医療施設で適切な治療を受けなければなりません。高齢者が増えればそれに比例して医療の現場に携わる人達も増えなければなりません。しかし、現状で既に浮き彫りになっているのが医師や看護師の不足偏在問題で、今後さらに高齢化社会が進むにつれて、この問題が顕在化することが予想されます。

現在、筑西市・桜川市に於いて平成30年10月開院予定の2つの病院建設が進行している中、この県西地域においても、今なお慢性的な看護職者不足が解消されておりません。

少子・高齢化の進展する今、看護職者の活躍するフィールドが大きく広がっています。

当学院では、幅広い年齢層の皆さんが医療機関等に所属して働きながら学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍しています。

是非とも当学院で学び、資格者としてのファーストステップを踏み出してください。

受験対策



働きながらの受験勉強は時間を有効に使うことが肝心です。長く学業から遠ざかっていた方も、早めに対策をスタートしていきましょう。

当学院の試験は、国語・数学・作文そして面接による総合判定となります。

学科試験(国語・数学)は、高校受験レベルです。過去3年分を収録した過去問題集を販売(500円)しております。受験対策としては、この問題集で傾向を掴み対策することが最良の手段です。

作文の課題についても、問題集に3年分を掲載しています。課題に対して、1時間で800字程度に纏めることが求められます。作文対策は頭で考えるよりも、兎に角自分の考えを文字に書いて表現する事に慣れることが肝要です。

学業から離れた空白期間の長い方ほど、早め早めにコツコツと対策することが結果に繋がります。面接では、決して簡単ではない、むしろ厳しいといえる看護の道を選択したその確固たる思いと覚悟を自信をもって面接官に伝えてください。そのためにも、早いうちから様々な方法を駆使して情報収集に努め、看護に関わる知識を少しでも多く備えて、ゆるぎない思いを面接の場で語れるよう、準備を進めてください。面接は、直接自分自身をアピールできる唯一の機会です。

当学院では、地域医療の一翼を担う意欲ある看護職者を一人でも多く養成し、輩出したと考えています。多くの皆様のチャレンジをお待ちしております。

卒業後の進路

(過去3ヶ年分)

資格取得後、数多くの先輩達が、地域医療の現場に携わっています。

【就職先】

- | | | |
|-------------------|-------------|--------------|
| 飯村医院 | 柏たなか病院 | 青嵐荘療育園 |
| 石塚医院 | 加倉井皮膚科クリニック | 総和中央病院 |
| 上の原病院 | 加納内科胃腸科 | 筑西腎クリニック |
| 宇津野医院 | 軽部病院 | 筑波記念病院 |
| 遠藤産婦人科医院 | 菊池病院 | 霧見脳神経外科 |
| 大田医院 | 木根淵外科胃腸科病院 | 利根川橋クリニック |
| 大圃病院 | 協和中央病院 | 新潟脳外科病院 |
| 奥田クリニック | ケアパレス・ナヴァーレ | 平林医院(長野県) |
| 小山すぎの木クリニック | 湖南病院 | 平間病院 |
| 介護老人福祉施設筑園苑 | 小松崎産婦人科医院 | 星野病院 |
| 介護老人保健施設さくらがわ | 三岳荘小松崎病院 | ホスピタル坂東 |
| 介護老人保健施設サングリーンやさと | 山王病院 | 北海道西部病院 |
| 介護老人保健施設 すばる | 下館病院 | 宮田医院 |
| 介護老人保健施設梨花苑 | 城西病院 | ライフサポート HAGA |

【進学先】

- 〈茨城県〉** 茨城県立中央看護専門学校 **〈千葉県〉** 千葉県立野田看護専門学校
〈埼玉県〉 幸手看護専門学校 **〈栃木県〉** 栃木県立衛生福祉大学校

【入学相談・学院見学随時受付】

入試の事や学院ライフ・奨学金・就職など、お気軽にお問い合わせください。学院見学の希望の場合は、事前に電話にてご予約の上、お越しください。

真壁医師会准看護学院
〒308-0841 茨城県筑西市二木成 827-1
Tel.0296-22-7702

MJ Makabe Ishihai Junkanjo Gakuen

県内一熱いサポート!

濃密な2年間で資格取得

ここ数年来、当学院の入学層は大きく様変わりし、20代から40代の社会人経験者が多数を占める状況が定着し、10代の高校新卒者と教室で机を並べる光景が珍しいものではなくなってきました。これまでの経歴を大転換し、一念発起して看護の道を選んだ方々は、様々な社会的背景をもった人間的にも成熟していて、モチベーションの高い方々が入学しています。

今後益々進展する超高齢化社会にあって、看護職者は多くの方々から期待され、信頼される職業の一つであり、自分自身の人生を豊かにし、社会的にも評価を受けているやりがいのある仕事です。当学院では、看護職者としてのファーストステップをきめ細かくサポートします。是非、チャレンジして下さい。

当学院の三大行事である、入学式(4月)、戴帽式(10月)、卒業式(3月)。節目となるそれぞれのセレモニーでの当学院生の想い(覚悟)の一端を感じて、同じ道を志す皆さんの将来像と重ねてみてください。

入学式では、専門職業人となる看護の道を選んだ決意を「誓いの言葉」に込め、入学後、半年間の勉学を経て看護職者としてふさわしいと認められた生徒は、象徴であるナースキャップを戴き、ナイチンゲールの看護の心を受け継ぐため、手にしたろうソクに灯火(ともしび)をともし、**戴帽式**に臨み、看護の道へ進む自覚と誇りを「謝辞」として表します。

そして、晴れて2年間の課程をやり遂げた充実した思いを**卒業式**の「答辞」として、万感の思いを込めて読み上げます。その姿に参列者の多くの方々から惜しみない賛辞と激励のエールが贈られます。

入学式

新入生代表 早苗夏子

あたたかな春の訪れと共に、私たち第六十三回新入生、同は真壁医師会准看護学院の入学式を迎えることができました。本日は、このような立派な入学式を挙げていただき、関係の皆様には、厚く御礼申し上げます。併せて応援して下さる職場の方々、友人、家族に心より感謝いたします。本日より私たちは、看護師という目標に向かって新たな歩を踏み出します。

第六十三回生として強い意志と責任感を持ち、看護の知識技術態度を学びます。看護職者は患者さんに寄り添い、励まし、希望を与えることのできる素晴らしい職業です。その反面、人の命を預かる責任の重い仕事でもあります。そのことをしっかりと自覚し、日々精進していきたいと思えます。

新しい環境の中では、楽しいことばかりではなく、辛く苦しいこともあると思いますが、同じ目標を持つ学友と共に、互いに励まし助け合いながら努力していきたいと思えます。



これから2年間、学院長先生はじめ、医師会の先生方、教職員の方々、諸先輩のご指導のもと、初心を忘れることなく学び続け、成長していけるよう、日々努力することを新入生一同ここに誓います。

卒業式

答辞

第六十二回卒業生代表 寺澤知子

厳しい寒さも和らぎ、窓から見える風景も春を感じさせる陽気となつてまいりました。この佳き日に、私達六十二回生、二十八名は卒業の時を迎えました。

本日は、私達のために多くのご来賓の皆様、諸先生方、保護者の皆様のご臨席を賜り、このような素晴らしい式典を挙げていただき、卒業生一同心より御礼申し上げます。

二年前、看護の道を選んだ私達は、この学院に入学しました。様々な年代のクラスメイトと、互いに様子を伺いながら学院生活が始まったことを思い出します。それぞれの環境は違いますが、勉強、仕事、家庭と追われる日々は、想像以上でした。実技テストではみんなで何度も何度も練習し、互いの合格を喜び涙を流したこともありました。そうやって私達は、仲間という存在、チームワークの大切さも学ぶことができました。

ろうそくの灯りの中、厳かに行われた戴帽式。これまでの半年間を振り返り感動と喜びがわきあがりました。仲間とナイチンゲール誓詞を奉唱し、ナースキャップの重みを感じ、私達は、看護職者として、たった一つしかない命に関わる責任の重さを自覚し、更なる努力と互いの健闘を誓いあいました。

長きにわたった臨地実習は、私達の看護の原点であり、貴重な体験を沢山させて頂きました。様々な患者さんと出会い、看

戴帽式

謝辞

第六十二回戴帽式代表 渡部優菜

菊の花が香る季節となりました。私たち六十二回生、四十名は本日戴帽式を迎えることができました。

戴帽式を迎えるにあたり、ご来賓の皆様、諸先生方、職場の皆様、そして家族に心より感謝申し上げます。四月、准看護師を志し、新しい環境、新しい仲間を期待と不安をいだき、この真壁医師会准看護学院に入学致しました。

講義では、看護はどのような法律のもとで行われ、病気を患っている患者はどのような心理なのかなど、専門性の高い内容を講師の方々から教えていただいています。また、患者さんには、どのような症状や訴えがあり、必要な援助は何か、私たちがどのように看護するかによって患者さんの病状が変化することを知り、責任の重さを感じています。

基礎看護技術では、ベッドメイキングや血圧測定、全身清拭など技術の基本を学んできました。シートのしわ、清拭のお湯の温度ひとつとっても患者さんへの思い、不快を与えぬよう実践できるようにするまでには、時間を要するものと思えますが、昼休みや放課後を利用して、互いに教え合い、みんなで協力して研鑽を重ねて行きたいと思えます。

ここまでなかなかクラスがまとま



らず何度も話し合ったこともありました。それでも同じ准看護師の道を目指している仲間として助け合い、最善の方法を探し、今日を迎えることができました。今後も学んだことを忘れず、新しいことを吸収し、更なる追究を続けていきたいと思えます。

これから始まる臨地実習では、これまでの校内実習や授業とは違い、実際の看護の現場で患者さんに接することになります。難しいと感じることがあると思いますが、一生懸命取り組み、仲間と助け合い乗り越えていきたいと思えます。

先生方、職場の皆様、家族の皆様、今後とも温かくも厳しいご指導を宜しくお願いいたします。

戴帽生を代表し、お礼の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

護の深さや難しさ、看護の喜びや達成感を感じることができました。膨大な記録簿には指導者の方々、先生方からの丁寧なコメントの確かなアドバイス、厳しい言葉がありながらもお褒めのお言葉も頂きました。事前学習計画を立て実習に臨んでも、不安と自信の無い私達には、大きな力となりました。また、新たな実習が始まる度に緊張と不安を和らげてくださったのは、患者さんでした。「学生さん待ってたよ」「ありがとう」の言葉は、私達を笑顔にさせてくれました。

良い時も悪い時も、見守ってください。職場の皆様は、看護の先輩としても頼もしい存在でした。忙しい中、気にかけて声をかけてくださったこと、親身になって話を聞いていただいたことは、大きな支えでした。

そして、家族。一番身近にいて、私達を支えてくれました。触れ合う時間が無くなってしまうときは、看護の道を選んだことに疑念を抱くこともありましたが、資格試験の日、「頑張ってきたね」と送り出してくれ、家族も二年前、一緒に頑張ってきたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

在校生の皆様、基礎実習を終え、二年初への不安を抱えている時ではないでしょうか。今年度よりミニプリセプターシップを行うことで、交流が多くもて、教えることで私達も学習を深めることができました。明日からは、二次次の教室は、六十二回生の皆さんを待っています。私達には沢山の支えがあります。決して一人で悩まないでください。悩み喜び笑い、先生方と仲間と過ごした時間は、誇りと自信になることでしょう。

今日、私達は、新たな門出を迎えます。学院長先生、諸先生方、職場の方々、ご臨



席いただいた皆様、在校生の皆さん、家族、私達は皆様の支えの中で二年間学ぶことができ、今日、この場に立つことができました。卒業生一同、心からお礼申し上げます。それぞれの道に進むことになりましたが、看護の道は始まったばかりです。学院で学んだ知識、技術、態度、先生方が私達に注いでくださった熱意や愛情を糧に、これからあるであろう困難を乗り越え、微力ながら看護の発展に貢献してまいります。

最後になりましたが、本日ご臨席の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、沢山の学びを与えてくれた、伝統ある真壁医師会准看護学院の更なる発展をお祈りいたしまして、答辞とさせていただきます。

「看護が分かる!」が面白くなってくる
9年連続 准看護師資格試験合格100%



平成29年度全国模試「県内1位*全国242校中29位」を達成!学院での集大成として、資格試験全員合格を目標とし(結果、偏差値アップ)取り組んでいます。2年次の実習終了と同時に特別プログラムを開始。まず最初に全員「合格体験記」を書きます。まだ合格もしていないのにと訴えますが、資格試験合格を具体的にイメージすることから始まります。担

当教員ごとに学習グループに分け、面談、学習方法など試験の直前まで、きめ細かな指導を徹底して行い、自信を持って資格試験に臨むことができるようバックアップします。最終的には自分自身がやってきたことが、自信につながります。あなたを必要としている人がいます。県内一、熱い関わりのある真壁医師会准看護学院で一步を踏み出してみませんか。